

**製品名:** リボソームタンパク質 LP2 ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab17171

研究使用のみ

## 概要

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | IHC, ICC/IF, ELISA                                 |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

## 応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

## 抗原情報

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | RPLP2  |
| 別名           | RPLP2; D11S2243E; RPP2; 60S acidic ribosomal protein P2; Renal carcinoma antigen NY-REN-44 |
| 遺伝子 ID       | 6181.0   |
| SwissProt ID | P05387   |
| 免疫原          | 抗血清はヒト RPLP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70  |

## 背景

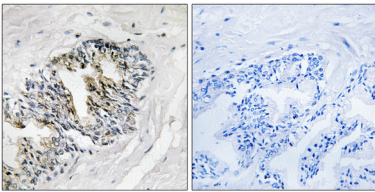
リボソームは、タンパク質合成を触媒する細胞小器官で、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。

す。これらのサブユニットは、4種類のRNAと約80種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、60Sサブユニットの構成要素であるリボソームリンタンパク質をコードしています。このタンパク質は、大腸菌 L7/L12 リボソームタンパク質と機能的に同等であり、リボソームタンパク質の L12P ファミリーに属します。タンパク質合成の伸長段階で重要な役割を果たします。ほとんどのリボソームタンパク質が塩基性であるのに対し、このタンパク質は酸性です。その C 末端は、リボソームリンタンパク質 P0 および P1 の C 末端とほぼ同じです。P2 タンパク質は P0 および P1 と相互作用して、P1 および P2 の二量体と P0 単量体からなる五量体複合体を形成します。このタンパク質は細胞質に局在します。遺伝子の典型的な機能として、タンパク質合成の伸長段階で重要な役割を果たします。類似性:リボソームタンパク質 L12P ファミリーに属します。サブユニット:P1 と P2 は、大きなリボソームサブユニットで二量体として存在します。、

## 研究分野

リボソーム;

## 画像データ



RPLP2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。